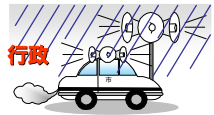


土砂災害発生 の 時間予測 の 難しさ

そのため、行政からの避難勧告がはずれることもある

土砂災害の危険性があります！
避難しましょう！



危ない！
はやく逃げよう！



なんだあ、
起こらなかったぞ



しかし、油断していると、行政からの避難勧告がでてなくても発生する！！



ずいぶん雨が降っているけど大丈夫かなあ
でも、避難勧告はでてないし...

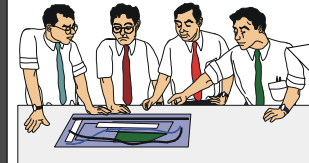


うあ、やられた！

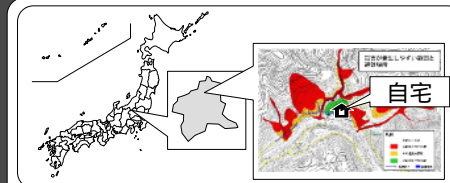
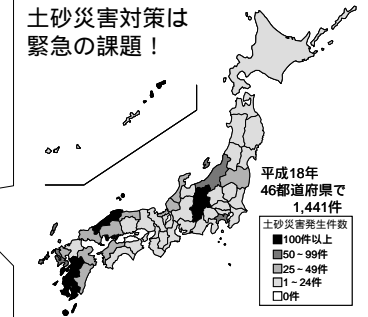


土砂災害に係る行政と住民の視点の違い

全国各地で土砂災害は
頻発している。



土砂災害対策は
緊急の課題！



今まで一度も土砂災害
はないからね...



住民から見れば、
被災履歴は無いほうが一般的

土砂災害に関する情報

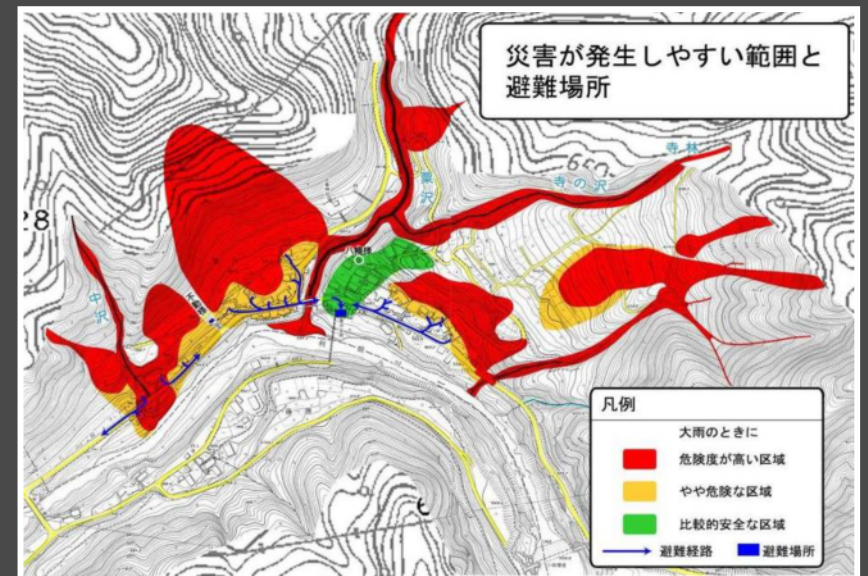
【行政】

「いつどこで土砂災害が起こってもおかしくない」という
位置・時間を特定しない状況情報を伝え、避難を呼びかける

【住民】

位置・時間が特性されない災害に対する避難を要求される
当事者間・切迫感が乏しくなる
避難はより難しくなる

みなかみ町栗沢地区 (土砂災害)



みなかみ町の過去の災害



平成10年8月豪雨

半壊家屋2件、一部破損1件、
床上浸水32件、床下浸水161件

平成14年7月豪雨

家屋被害7件
幸いにも人的被害は無かったが、
家屋は甚大な被害

37

住民とのワークショップ 土砂災害危険地域で住民と向かい合う



38

住民とのワークショップ scene-1

土砂災害警戒区域図の提示

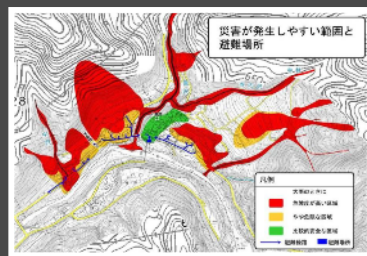
住民：なんだこれは!?

で、役場はどう考えてるんだ!?

片田：そうですね。役場での対策は
どうなっているんですか?

役場：・・・いやぁ・・・

片田：なぜ、役場の職員が口ごもるか、皆さんわかりますか?



群馬県内には土砂災害警戒区域が約7,600箇所もあること、
財政上の制約、ハード対策が完了しても完全な安全は保証
できないことを説明。

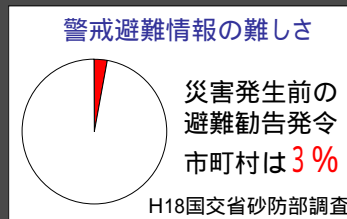
39

住民とのワークショップ scene-2

住民：なるほど、それで先生は避難の話をしに来たんだな。
だったら、役場は避難情報くらいはちゃんとくれるんだろうな?

役場：いやぁ・・・出来る限り情報提供は県と協力してやりますが、
完璧な情報提供となるとちょっと・・・

片田：土砂災害の場合、事前の
警戒避難情報を出すのは
非常に難しいのです。



土砂災害が如何に不確実性の高い災害で、警戒避難情報の
提供が難しいかを説明。

40